第９４号
２０１９年１月

風

発　行
群馬県生協連女性協議会
群馬県前橋市大手町３－１９－３
『風』はホームページでもご覧いただけます
http://gunma-ccu.jp/
Eメール:post@gunma-ccu.jp

9月１２日(水)

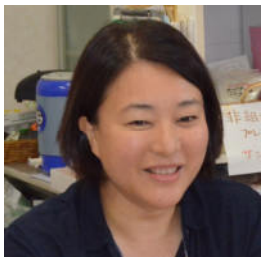
生活クラブ群馬を訪問しました

施設の見学を行い、役職員との懇談会を開催しました

9 月 12 日㈬、生活クラブ群馬と女性協との懇談を行いました。本来なら、玉村の本部物流センターにおいで頂くところですが、組合員主導で設立した「高崎ステーション」を是非とも女性協メンバーに見て頂きたいと、そちらをご案内しました。

店舗を持たない生協ですので、うっかり調味料などを切らしてしまった場合に手に入れられる、助け合いの仕組みが欲しいというのは、組合員の長年の切望でした。7年前にそれが形となり、さらに手作りランチや無料試食を提供するアンテナショップとして、今や組合員の憩いと交流の場となっているステーションです。

木暮伸枝常勤理事



菊川麻里子理事長

木村好美理事

手作りランチ1食 380 円は純粋に材料費のみの価格で、全て生活クラブの消費材で作られています。また、ステーションは、市内や近隣地域への配達拠点として、物流の一部を担っています。朝 10 時、本部から到着したトラックから荷を降ろし、仕分けして、各方面へ軽バンで出発する様子も見学していただきました。

ステーションの運営や配達を担うのは、組合員が起業した「ワーカーズ・コレクティブ」という事業体です。言わば「仕事の協同組合」であり、社長は居らず１人１票の話し合いで運営する、民主的な働き方です。

●本部より消費材を積んだトラックが到着

●皆で消費材を降ろします

●消費材の仕分け作業の仕訳

●配送に出発

生活クラブ群馬は、設立当時から女性がリーダーでしたが、ワーカーズも女性パワーで頑張っています。女性陣がキビキビとトラックの荷降ろしを行う光景に、驚きの声が上がる一幕もありました。

ワーカーズは若者の就労支援の場にもなっていて、現在も何人かを受け入れています。

懇談では、国産・無添加・減農薬、遺伝子組み換え使わない、徹底した放射能検査といった生活クラブのこだわり、女性が中心となって活動してきた様子などを、菊川理事長、木暮事務局長が説明。

また、若いママと赤ちゃんのグループの活発な活動状況を、木村好美理事が話しました。

生活クラブの取り組みの先進性を、よく理解していただけて、嬉しく思いました。

生活クラブ群馬　女性協運営委員　木村香織

「生活クラブ群馬を訪問して」

高崎ステーションで生活クラブの消費材（食品）を使用した美味しいランチをいただきました。食事提供をしている「そらまめ」のワーカーズコレクティブという女性の働き方や、配送の女性が多いことなど、女性が活躍している職場だと感じた。ステーションでは一部の冷凍や冷蔵の商品、石けんなどの日用品が購入できることが組合員にとって嬉しい取り組みであるとともに、ステーションが組合員の交流の場にもなっていると感じました。

●ワーカーズの方たちによるランチご提供

女性協運営委員　柳井由香里（パルシステム群馬）

女性協との懇談会

生活クラブ生協に、お越しいただいてありがとうございました。

自分たちの組織について、女性比率が高いことなど、普段はあまり気にしていなかったのですが、改めて振り返る機会になりました。

おばさんパワーに押されてか、男性職員はおとなしめ？私たちもついうっかり「○○君」などと呼んでしまうこともよくあります。

一般の職場と逆転しそうなことも起こりうるので、その辺り気をつけながら真の意味での男女共同参画とはどういうことなのか、考えていきたいと思います。

よい機会を与えていただきましたこと、感謝しております。

生活クラブ群馬　理事長　菊川麻里子さん

１１月１４日(水)

女性協視察研修会を実施しました

～日本初の女性樹木医の足跡を訪ねて～

11月14日（水）総勢32名で行って来ました。

女性協議会主催の企画ですので女性の活躍の足跡を知るという事で、今や日本でも知名度の高い足利フラワーパークにおいて初の女性樹木医が誕生したという事で、この地の他、足利学校、鑁阿寺に行きました。

●鮫島マネージャー、後藤主任

足利学校、鑁阿寺は、ユーモアに溢れたガイドさんのおかげでパンフレットだけでは頭に入らない事も、理解でき楽しく知ることができました。紅葉も始まり、日頃の忙しさを忘れさせてくれる癒しの時間となりました。

フラワーパーク内では残念ながら女性初の樹木医塚本こなみさんは退職された為お会いする事は出来なかったものの現在、園の管理をしている鮫島マネージャーと木の手入れをしている後藤主任から塚本さんの想いを聞くことができ、多数の質問も出され直接説明を受け有意義な時間でした。

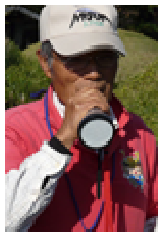
この時期は夜のイルミネーションも注目されていますが、そのための大変なお話も聞く事ができ、是非次回は夜に訪れたいと参加者皆さんの感想がありました。

今回は参加者の方に学んで知ってもらいたいという想いから、バスの中で塚本さんの DVD・ガイドの方の説明・職員の方から話を聞いてみるという行程となりました。当日は天気も味方をしてくれたおかげで、秋の1日素晴らしい研修会になりました。

今後とも１人でも多くの方に女性協の活動に関心を持っていただき、また次回の研修会に参加していただけるような企画を考えたいと思いますので、是非よろしくお願い致します。

女性協会長　女屋美由紀

女性協視察研修会に参加して



ガイド金子さん

フランシスコ・ザビエルによって世界に紹介された、日本最古の大学校＝足利学校は一度訪ねてみたかった場所。今回、群馬県生協連女性協の視察研修会で実現しました。ここではボランティアガイドの金子利男さんの案内で、足利学校と隣接する鑁阿寺を見学しました。

足利一門の氏寺「鑁阿寺」も圧巻！全国から三千人の生徒が集い、「兵学・医学易学」を学んだとの事。「学舎の広さ、板敷の重厚さ」には圧倒されました。

楽しみにしていた「足利フラワーパーク」は日本初の女性樹木医、塚本さんが移植を成功させたと言う四本の大藤。その花房をこの時期観ることはできませんが代わりにLEDの藤の花が夜には満開との事です。ここで園内の食堂で昼食。はるな生協・群馬中央医療生協・利根保健生協・生活クラブ生協・コープぐんま・群馬県生協連女性協議会の方々、計32名と共に食事とおしゃべりで和気合々視察研修会の有意義まさに極まれりの一時でした。

利根保健生協　甲斐陽子さん

女性協視察研修に参加して

晴天に恵まれ美しい紅葉の一日、初めての足利学校へ知人を誘っての参加でした。
世界遺産を目指している日本最古の足利学校の創建は奈良、平安の昔からで学徒が集り学問に励み足利で働く人にも感化しました。
ザビエルが「日本国中最も有名な板東の大学」と世界に紹介し、現在では江戸中期の姿に甦り“自学自習”の精神を伝える教育の原点を視察してきました。

花の芸術村フラワーパークでは樹木医に助けられた大藤の苦労話しや、樹木の気持ちになり育てていく丁寧な話しを伺いました。また日本三大イルミネーションを想像できる仕込みがあり是非夜に！と思いました。
今回双方とも、将来へつながる“育てる事”の大事さを実感でき、先人を見習い自立出来るよう育てる精神を現代に伝えていくべき事と強く感じました。一日大変ありがとうございました。

コープぐんま　野村由利子さん

県生協連・県消団連・前橋市消団連共催 福島視察学習バスツアーに参加して

4 年ぶり 2 度目の福島は、2020 年のオリンピック開催に向けて復興を急いでいるようでした。低い山間を縫って走る常磐道では 4 車線化の工事が行われており、国道 6 号線の海側は更地、山側は新しい住宅が建ちならんでいました。帰還困難区域では、まだ住めそうな家の解体作業が進んでおり、手放さざるを得ない無念さが伝わって来るようでした。どの町も工事関係者以外住人は見受けられませんでしたが、4 年前よりは整然としているようでした。しかし学校や公共施設の敷地内は枯草が生い茂り、車内のガイガーカウンターも激しく警告音を鳴らし、長くとどまることの危険を訴えていました。

国道両脇は帰還困難区域
（大熊町・双葉町）

住民が帰れない中、
廃炉作業員用住宅が並ぶ

帰還困難区域内の国道上
バス車内での計測値

放射能が遺伝子に与える影響も懸念されます。人間はもちろんの事、動物や植物、海洋生物など生態系のすべてにおいて汚染が広まっていくのではと心配です。福島原発がいまだ制御されておらず危険な状態にありながら、司法は稼働許可の判決を下しています。

資本主義や私たちの快適の追求が、環境破壊や生物の滅亡を引き起こすことのないよう自重すると共に、訴え運動することの重要さを学んだ福島の旅でした。

女性協副会長　藤原京子